

千葉市緑地保全等事業【事後評価】 令和2年11月

計画期間	平成27年度 ～ 令和元年度	交付対象事業費	396, 927千円	うち国費	132, 309千円
計画の目標		定量的指標	目標値	評価値	達成度
本市では、「千葉市緑と水辺のまちづくりプラン」(計画期間平成24年度～平成33年度)にもとづき、豊かな緑と水辺を次代へと引き継ぐため、緑地の保全や、公園・水辺空間の整備を進めます。 古都保存・緑地保全等事業では、都市における緑地の保全を図るため、特別緑地保全地区内の失われつつある優れた自然環境及び歴史文化的意思を有する土地の買入れを行います。		特別緑地保全地区内買入公開地面積	13ha	13ha	○

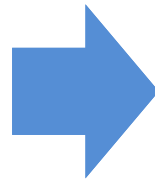


都市における緑地の保全を図るため、
優れた自然環境等を有する
特別緑地保全地区内の土地の買入れを実施

今後の方針

次期社会資本整備計画(計画期間R2～R6)においても、引き続き「千葉市緑と水辺のまちづくりプラン」(計画期間H24～H33)に基づき豊かな緑と水辺を次代へと引き継ぐため、緑地の保全を進めて参ります。
具体的には、従前からの特別緑地保全地区の土地の買入れを行います。

事業効果の発現状況(一部事例)



《緑地保全事業》 (例)仁戸名特別緑地保全地区

千葉市中心部より南東方約5kmに位置しており、コナラ、イヌシデなどを主とする雑木林となっており、樹林内には史跡もあります。市民の森と市民緑地を特別緑地保全地区として指定。(赤枠内が買取部分)



要素事業の進捗状況

事業名・箇所名	進捗状況	備考(計画が達成できなかった場合の理由)
千葉市緑地保全等事業	○	土地の買い入れ2箇所(仁戸名、縄文の森)

達成状況

- 計画していた事業量(又は供用)が達成できた
- △ 事業は進捗しているが、計画事業量には達しなかった
- × 事業着手ができなかった